

□講義科目（基礎科目）

| | | |
|-----------------------|---|-----|
| 科目名 | スポーツインテグリティ特論 | 2単位 |
| 担当者 | 高尾尚平 | |
| テーマ | スポーツ界における倫理的諸問題について、倫理的視点に基づき思考し、議論する | |
| 科目のねらい | <p><キーワード> ① スポーツ ② 競技スポーツ ③ 応用倫理学 ④ インテグリティ ⑤ オーセンティシティ</p> <p><内容の要約> 競技スポーツ界では倫理的に逸脱するような問題が度々指摘されるが、そのようなスポーツ界における倫理的諸問題について、なにがどのように問題であるのか、本当に問題であるのか、どのように解決策を見出せばよいのか、倫理的視点をもとに考察し、対話を通して議論を深めていく。また、スポーツのインテグリティを脅かそうとする問題について調べ、理解し、発表を通して適切な態度や指導方法を修得することがねらいである。</p> <p><学習目標> 1. 競技スポーツ界において指摘されている倫理的逸脱状況について理解できる。 2. 思考の枠組みとしての理学的視点を習得できる。 3. スポーツ界における倫理的諸問題について応用的に考え、議論できる。 4. スポーツのインテグリティを守るシステムについて理解し、説明することができる。</p> | |
| 授業の進め方 | 第1回 オリエンテーション 第2回 倫理学の体系について 第3回 応用倫理学としてのスポーツ倫理学 第4回 スポーツインテグリティとはなにか 第5回 倫理学的方法論（1）規範倫理学①功利主義 第6回 倫理学的方法論（2）規範倫理学②義務論 第7回 倫理学的方法論（3）規範倫理学③美德論 第8回 スポーツインテグリティについて考える（1）スポーツ指導と暴力の問題 第9回 スポーツインテグリティについて考える（2）スポーツジェンダーの問題 第10回 スポーツインテグリティについて考える（3）ドーピング禁止論 第11回 スポーツインテグリティについて考える（4）ドーピング容認論 第12回 スポーツインテグリティについて発表する（1）勝利至上主義について 第13回 スポーツインテグリティについて発表する（2）ドーピングについて 第14回 スポーツインテグリティについて発表する（3）スポーツ指導とコンプライアンスについて 第15回 総復習 | |
| 事前学習の内容 学習上の 注意 | 事前学習：第12回～第14回の部分の3つのうち、テーマをどれか一つ決めて資料を収集、熟読の上、発表資料を作成しておくこと（180分） 事後学習：倫理理論を枠組みにスポーツの諸問題について応用的に考える（90分） 能動的に授業に参画し、自ら考え、積極的に発言をすること | |
| 本科目の 関連科目 | スポーツ哲学特論 | |
| テキスト | 森岡正博、石井哲也、竹村瑞穂(2021) スポーツと遺伝子ドーピングを問う:技術の現在から倫理的問題まで. 晃洋書房 | |
| 参考文献 | | |
| 成績評価方法 と基準 | 論述試験 100% | |

